

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ7ch+dボタン)

## 台風11号被害に関する 環境生活農林水産常任委員会 の活動状況

9月18日、環境生活農林水産常任委員会は、台風11号で、特に大きな被害が発生した津市及び松阪市の被災現場の調査を行いました。

県当局からは、県内の農林水産に関する被害状況として、水田の冠水等による水稲や大豆など農産物の被害状況のほか、水路や頭首工などの農業用施設や治山・林道施設などの被害状況などが説明されるとともに、被害額が34億円を超えたことも報告されました。

全国各地に甚大な被害をもたらした台風11号等による災害は、国の激甚災害に指定されたこともあり、本委員会では、被災状況等を実際に現地を確認するなか、県当局に対して、国の制度を最大限に活用して、被災農業者等への円滑な支援の実施や、被災施設等の早期復旧に向けた着実な事業推進などを強く要望しました。



被害状況調査 (JA津安芸)

## インターンシップ実習生の 受け入れ

県議会では、議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、平成21年度から、インターンシップ実習生を議会事務局において受け入れています。

今年度も、9月16日から30日まで、北海道大学公共政策大学院の学生1人を実習生として受け入れました。

実習生には、県議会の取り組みや議会事務局の業務内容を学んでいただけでなく、自由かつ柔軟な発想による地方議会改革の提案を考えてもらい、発表していただきました。

今回の実習を通して、実習生からは、「地方議会の現状や地方議員の考えを理解することができ、地方議会におけるインターンシップ実習ならではの貴重な体験となった」などの感想をいただいています。



議長から受入書の交付を受ける実習生

## 第1回 三重県議会議員勉強会

県議会では、県政を取り巻く諸課題の中から、特に知識の取得と議員間の知識の共有化を図る必要があるテーマを選定し、外部有識者を招いた「議員勉強会」を、全議員を対象として開催しています。

10月17日には第1回目として、関西学院大学大学院の石原俊彦教授を講師にお招きし、「地方公会計改革と議会の役割」と題した講演をいただきました。講演では、財政の効率化・適正化の推進等を図るために国が整備を進めている新しい「地方公会計制度」を分かりやすくご説明いただいたほか、決算認定過程における議会の役割の重要性などのお話をいただきました。

特に、講師からは歳入確保の観点で基金の運用に関してご意見があり、議員からは運用に際してリスクとのバランスをどう取って運用すべきかといった質問が出るなど、活発な意見交換も行われました。

## みえ県議会 出前講座のご案内

県議会をより身近に感じたいいただき、将来の住民自治を担う県民としての意識を醸成することを目的に、「みえ県議会出前講座」を行っています。

県内の小中高の学校、外国人学校、大学に議員が出向き、「県議会の役割」について、DVDやスライドを交えて説明を行い、その後、県議会や議員に対する質問にお答えします。

昨年度は小中学校などの4校から申し込みがあり、約130人のみなさんに参加いただきました。参加した子どもたちからは、「新博物館には、何が展示されますか。」「子どもでも議会は見られますか。」「どういう思いで仕事をしていますか。」などさまざまな質問が積極的に出されました。

今年度は、11月から12月にかけて、3校から応募をいただいています。引き続き各学校からの申し込みをお待ちしています。



昨年度の授業の様子